内海地区統合小学校準備委員会 第1回会議議事録

- 1.日 時 令和6年7月11日(木) 18:30~19:50
- 2.場 所 小豆島町役場本館3階 大会議室
- 3.参加者 大江町長、谷本副町長、坂東教育長
統合準備委員 教育民生委員長、自治連内海分会会長、星城小学校運営協議会副会長、安田小学校運営協議会会長、苗羽小学校運営協議会会長、星城小学校PTA会長、安田小学校PTA会長、安田幼稚園保護者代表、内海保育所保護者代表、せいけんじこども園保護者代表、星城小学校校長、安田小学校校長、苗羽小学校校長
事 務 局 古郷課長、小野課長補佐、濱岡係長、黒島係長
- 4.内 容
- 事 務 局 まず始めに、各委員から自己紹介をお願いします。
- 各 委 員 自己紹介
- 事 務 局 これに加えて、小学校代表として各小学校から1名ずつ委員をお願いしたいと思っている。今、人選中なので、次回からの出席となる。続いて、委員会規定第5条により委員長と副委員長の決定をしたい。委員から意見がなければ事務局から指定させていただきたい。委員長に小豆島町議会教育民生委員であられる三木卓様をお願いしたい。いかがか。
- 一 同 拍手
- 事 務 局 ありがとうございます。副委員長はPTAの方から選びたいが、次回、皆さまがそろってから決めたい。委員会規定第6条により委員会の進行は委員長によるため、ここからの進行は 様をお願いします。
- 委 員 長 挨拶
内海地区統合小学校統合準備委員会ということで、今日の次第の中に出てきている、3小学校統合までの経緯、学校づくりの方針、開校までのスケジュール協議事項、準備委員会でどう進めていくのかという話がメインになると思うが、スムーズな議事進行に協力いただきたい。まずはじめに3小学校統合までの経緯について事務局からお願いします。
- 事 務 局 平成18年に2町合併により小豆島町が誕生し、その翌年には、小豆島町学校再編整備検討委員会で統合方針の検討を始めている。委員会の

答申が平成21年2月。その答申を受けて小豆島町立施設適正配置基本方針を定めている。星城、安田、苗羽の3小学校の統合を進めることとするという答申となっている。この実施計画はタイミングとして病院の統合や高校、庁舎の移転等、学校の統合に影響してくる諸問題があり、時期については慎重に進めていくこととしている。平成28年に法律の改正に合わせて、教育大綱を策定することとなったが、それに合わせて、教育施設再編の方向性を確認している。小豆島中学校を高校跡地に移転し、統合小学校は現中学校に整備する方針を打ち出している。それについては池田も含め全学校区で説明会をしており、各公民館単位で町政懇談会を実施し、整備方針を説明している。平成29年3月に教育大綱が完成し、平成33年4月を目標に中学校を移転することを設定している。

令和2年2月に教育大綱を改定し、新型コロナの影響もあり、再編計画の見直しに至っている。現状の学校施設は適正に維持管理し、学校統合は再度検討することとなった。令和4年、大江町長が就任し6月定例議会で3小学校の統合を進めると所信表明をしている。それを受け、総合教育会議で小学校の統合方針を改めて確認した。次の総合教育会議で次の学校の候補地について改めて検討を行っている。旧小豆島高校跡地を香川県の協力を得て、学校敷地として利用したいと合意となり、用地交渉となっている。

ここから1年かけ、中学校を跡地に建てるのか、それとも小学校を建てるのか、どちらがより良いのかと協議に入っている。並行して行っていた香川県との用地交渉は令和6年1月に香川県と合意に至り、用地譲渡にかかる基本協定を締結した。その翌月の2月に総合教育会議で小学校を高校跡地に新設するという方針となり、5月の臨時議会において用地の売買契約の議案が可決し、売買契約が成立した。これが経緯である。

委員 長 質疑があれば伺う。
では私から、平成21年に3小学校を統合するようになってから長期間空いているが。

町 長 広報誌でもお知らせしたが、塩田町長が就任し小学校はギリギリまで統合をしないと方針を示した。それにより統合の議論は進まなかったが、2期目に入り突然、統合するということになった。そこから述べ17回の総合教育会議を開きご意見を伺い統合をすると、その中で高校跡地に中学校を移動し、中学校のところに小学校を移すといった方針となった。ただ、その後県との連絡調整が行き届いていなく、話もすす

んでおらず、しかしながらいつまでもほっておくわけにはいかない。こどもも減ってきて、まったなしの状態、何もしないわけにはいかない。そういったなか、3小学校統合について、町長就任直後から動き出した。教育委員の皆様のご理解をいただき、統合することは全員一致で決めていただいたので、そこから話が進んできた。

委員 長 それでは2つめに移る。学校づくりの方針について事務局から願います。

事務局 統合小学校の規模について、令和9年4月の開校を目指しているが、その時点での児童数が267人。内訳として星城小学校118人、安田小学校87人、苗羽小学校が62人となっている。ちなみに2町合併時の平成18年5月1日では3小学校あわせて600人いたので、すでに半分ほどになっている。統合小学校の学級数が、1学級35人以下なので、1学年2クラスの12学級になる。特別支援学級については予測が難しいが5学級ほどになると思う。学校区については旧内海地区全域である。

施設面では、学校用地としては旧小豆島高校跡地で、面積は38,237㎡である。校舎延床面積は約4,800㎡を予定している。この規模はどれくらいかというと、統合予定の3小学校は大体2,000㎡台で、倍まではいかないがかなり広めである。その他の施設で、体育館は既存の施設を改修して利用する計画となっている。築30数年経っているがまだまだしっかりしているので、改修して利用する予定である。それとプールを新築し、グラウンドはすでに芝生が整備されているが、できればこれを活かしていきたい。

ちょうど、設計業務を発注しているが、お配りしている資料の図面通りではなく、多少は変更となる。

委員 長 質疑をお願いします。

委員 開校のときは267名でわかったが、先程の町長の話の中で、令和5年までの出生児童数はわかるが、令和5年出生の子たちが小学校入学時にはどれくらいの児童数になるか。

事務局 今のところの見通しでは、旧内海地区では毎年の出生数が約20～40名なので、開校の数年後には1クラスになるだろう。

委員 長 200人は切るイメージか。

事務局 近い段階で200人を切ると思う。特にコロナ禍で急激に減っている。

委員 私が小学生の頃に1クラスになったが、児童数が減っていく中で、新しく作るのではなく、延命という選択肢はなかったのか。

教育 長 今の3小学校はすべて建築50年を過ぎている。ということは池田小

学校のように長寿命化の工事はできないので、いずれかを統合小学校とするのであれば、当然建て替えとなる。今の校舎は昔2学級入っていたので、古くても入ることはできるが、今の文科省の面積基準は昔と違う。建て替えとなるとその学校の児童が通学しながら建て替えとなるので運動場に建てることとなる。それに2年3年かかるということはその学校に通っている子はその間、運動場が使えなくなる。この3小学校の統合を議論するとき、統合小学校を作るのが原則ということで議論が始まった。なので現在の小学校を利用しながら新しい小学校を作るのは難しいので新しい場所に建設することとなった。

- 委員 局長 4, 800㎡は現在より大きいのか。
- 事務局 教育長が申しあげたとおり、文科省の基準があり学級数から計算する。現在の苗羽小学校2617㎡、安田が2610㎡、星城が2537㎡である。これに対し、4, 800㎡はかなり大きい。
- 委員 局長 3階建てか。
- 事務局 資料では3階建てだが現在検討中である。
- 委員 局長 面積としてはこのサイズを確保する必要があるということか。理解した。3階なら小学生が上がり降りしにくいのでは。
- 教育 局長 池田小学校は3階建てである。
- 委員 6年生が3階である。6年であればしんどいという声は聞かない。
- 委員 続けて質問。図面が分かりにくいので、次回は大きな図面をいただきたい。あと素朴な質問であるが、今、高校跡地がどのようになっているかがわからないが、体育館はそのまま活かすということだが、体育館、運動場、校舎と段があったが、個人的には段が無い方がいい。校舎から運動場が見える、子供の活動が見える状況がよい。もしトラブルの場合に教員がすぐ駆けつけることができたほうがいい。
- 教育 局長 図面については基本構想の図面であるので、大きい図面を渡すことができるが、今の段階で渡してしまうと決定事項として誤解されてしまう可能性がある。あくまでもイメージということで小さいものとしている。今、基本設計、実施設計を発注して、できるだけ早い段階で、配置が決まれば、ここでお示ししたい。段差については現状維持のまま利用したい、高低差の調整を否定することではないが、体育館が一番高い場所に建っているため、高低差を埋めるにはかなり大規模な工事となる。確かではないが、これだけの面積を切土盛土をすると開発工事となるため、建築期間に影響する。開発許可に半年から1年かかるので校舎の建設が遅くなる。令和9年度の開校には間に合わず令和10年度以降になってしまう。高さについては触らないよう、基本設計を進めて

いる。

- 委員 長 3つめ、開校までのスケジュールの説明をお願いします。
- 事務局 現在基本設計と実施設計をとりかかっている。配置が決まればお示しする。地盤の調査、測量業務等々も並行して進めている。実際の校舎の建設工事は来年度の夏頃には開始する。予定としては16か月。工事が令和8年中に終われば引っ越し等々がスムーズに進む。体育館の改修やプール等の工事は単年度で実施しなくてはならないので令和8年度に順次発注していく。開校までに準備委員会で諸々の事項を決定していく。
- 委員 長 質問があればお願いします。なければ4つめ、準備委員会の協議事項について説明をお願いします。
- 事務局 この準備委員会で協議する事項を拾い出している。通学支援。児童保護者にとって重要な事項であると思う。単純に何キロ以上をスクールバスとするとといったようには決定ができないと思う。これについてはみなさまの意見を聞きながら決定していきたい。早いうちに決めないとスクールバスの便数であるとかスクールバスの購入とかに影響するのでまず最初のうちに決定しなければならない。次に児童の服装である。標準服なのか私服なのか。標準服にしてもデザイン等決めなくてはならない。制服メーカーに問い合わせしたところ、標準服にするのかどうかを今年度中に決めて、そこからデザインを決めて1年前には決定をしておかなくては間に合わない。次にPTA組織について。新しい学校ができれば決めることになるが、今の組織についてどう整理していくか決めていく。次に学校運営に関すること。学校名についてはできるだけ早く決めていかななくてはならないが、どのように決めていくのか、一般的には公募するケースが多いが、準備委員会の中でできるだけ早く決めていかななくてはならない。次に校章。こちらも一般的には公募が多い。以下、校歌、統合小学校の教育目標、指導計画等、学校施設の開放、今現在の3小学校についてはスポーツ少年団や行事で開放しているところであるが、それを新しい小学校でどうするか。さらには、寄贈品、受賞品の取り扱い、どこに保管をするのか。新しい小学校に全部持っていくにはスペースが足りない。地域のご協力が必要である。式典について。開校式は教育委員会で式典内容を決めて行くと思うが、閉校式について、小学校に聞いてみたが、大体二部構成で、町で進めていったのは挨拶と旗の返還のみ。あとの部分は各学校やPTAで企画して進めていったそうであるが、どのようにするかこの場で検討していきたい。次、こちらも重要であるが、学校の跡地利用である。学校敷地は町の財

産ということになるが、地域の意見なしでは町のほうで勝手にすすめていくわけにはいかないので、意見をできるだけ伺っていく必要がある。その他として、学校運営協議会、各種の講演会とスポーツ少年団、クラブ活動とこの場で検討する必要があるのか無いのかを含めて協議していきたい。

- 委員 長 質疑をお願いします。
資料中の赤色の部分は急ぐ必要があるということか。
- 事務局 今年度中に決める必要がある。
- 委員 長 新しい小学校にこれを作って欲しいといったような要望が出てきたら反映することは可能か。
- 教育 長 学校施設については教育施設課で必要に応じて各小学校現場の意見をすり合わせて決定したい。なのでそのあたりで言うこの場で協議するのではなく、各学校現場の意見を聞きながら進めていって、必要に応じてこの場で報告という形になると思う。
- 委員 長 提案はいいか。保護者からの意見とか。
- 教育 長 PTA からの意見はこの場で聞きたい。
- 委員 せっかく小豆島で新しい学校となるので、コンセプトと言うか、目指すものがあればそれに合った校舎ができるであろうし、学校の運営方法も決まると思う。せっかく地域の方とか保護者の方がいらっしゃるので、こういう学校を目指したいとか、移住者も増えているので、こういう学校であつたら通わせたいと思うような学校を目指して作っていくと魅力が生まれる。ただ人数が少なくなったから学校を統合するのでは、あまり魅力が無いし、こどもの数が減っているが、この学校にはこんな特徴やいいところがあると。目指すものがあればそれに対して、みなさんがこういう教室はどうですかといったようなことが言える。
- 委員 長 教育方針は抽象的な言葉が入りがちである。より具体化したほうがいい。
移住した方から、小豆島らしい学校がないとよく言われる。夏は海で泳いだりとか、田舎ならではの良さは特に都会の学校と変わらないと言われたりする。そういった意見も取り入れていければいいと思う。
- 教育 長 単純に統合するだけでなく、どのような学校を目指すかは大切であるし、この場でも教育目標についても議論するし、3小学校でもしていきたいと思う。ただ1点、どのような学校を目指すかと、校舎へのどのような影響があるかは、私は別に考えたい。このような教育をするからこんな教室が欲しいといったものは早めに出して欲しい。ただ教育目標やイメージにあった学校というのはそれぞれ主観があるので、現実的

- には難しいと思う。
- 委員 教育長の話を知って、以前から町長から英語に力を入れたいんだと話
はあったが、例えば英語に特化した教室がいるといったことを伝えれ
ばいいのか。
- 教 育 長 800㎡は3小学校に比べ大きく余裕があるので、2学級×6学年
で12の普通クラス、5つの特別教室、これは決定で、あと管理部門で
職員室、校長室、事務室で決まり。それ以外に当然必要な理科室、図工
室など決まっていく。その他、少人数クラスや先ほどの英語教室とか、
そういう話は8月、9月までに意見をいただきたい。それに先立ち設計
業者が決まっているので、そちらのほうから建築場所や階数を含めた
平面図が出てきて、意見を最終確認することで変更が可能である。10
月までに建物の図面は決定してく。
- 委 員 プールについては、今は学校管理で設置。このプールは小中兼用の見通
しか。
- 教 育 長 現在は小学校専用で考えている。中学校はこれまでどおり B&G で。た
だ B&G の施設体育館も40年過ぎている。当然、総合運動公園の見直
しもするので、一時的に中学校も使うのか、逆にどういふふうを整備す
るかの計画により中学校との兼用になる可能性があるが、現時点では
小学校専用で一般開放はしない。
- 委 員 決めていくことが多くあるが、この準備委員会は定期的で開催される
のか。
- 事 務 局 定期的で開催する必要があると思う。進行具合により変わる。最初のう
ちは2、3か月の間隔になるのではと考えている。
- 委 員 となると9月までに具体的な意見となると、どのタイミングでかをま
た検討してほしい。
- 委 員 長 この量だと月1でみなさん覚悟を決めて来てもらう必要があるかと思
うが。
- 教 育 長 事務局の言うとおりに、最初は2、3か月の間隔が空いてくると思う。た
だ校舎の図面が進んでいくとか、これらについて学校で意見を求める
場も必要となるので、煮詰まって来たら月1回、場合によってはそれ以
上開催する必要があるのかと思う。ただ、みなさん PTA の代表となれ
ば当然ほかの保護者の意見を役員会とかで聞かないと思うので、短期
間で開催は負担になると思うが、煮詰まってきたら月に1回程度の開
催は必要かと思う。
- 委 員 この準備委員会で我々が要望を出すと反映されるのか。例えば階段状
の音楽室とか。

- 教 育 長 教室は標準で決まってくる。たとえば中学校は現場と協議した上で音楽室は階段状としていない。小学校は階段教室までする必要が無いと思う。代替えとして組み立て式の段を使うとか。教室についてはほぼほぼどういう教室かというのは標準的なものが決まっているので、設計業者からの提案で決まってくると思う。ただ先程も申したが少人数教室や英語教室、そのあたりの教室をどう割っていくのかは、教職員の意見を中心に聞かせていただきたいと考える。
- 委 員 今ある校舎より大きい校舎ができるので、予算的なものもあるが要望すれば反映されるのか。
- 教 育 長 4,800㎡というのは学級数からの標準の面積なので、極端に言えば4,200㎡でも大丈夫である。ただ一般的には児童数学級数で標準の面積で設計する、今の小豆島中学校は当時建設したときに標準は4,900㎡であったが実際は5,200㎡となった。これは学校等の意見を聞きながら多少増減をしたという経緯もある。
- 委 員 長 準備委員会の協議のなかでこんな意見があったので設計の中に取り入れてもらえないかという意見は言えるのか。
- 教 育 長 例えば木を使いたいとか、フローリングの床にしたいとかそのあたりの要望はこの場で聞いて設計に反映させることは可能である。
- 委 員 準備委員会が始まったら他の保護者からどうなっているか聞かれると思うが。
- 教 育 長 まだ時期は未定だが、学校区ごとの説明会は行いたい。例えばPTAの役員会などで、いろんな情報が知りたいのあれば、個別に相談していただいて、内容に応じてこども教育課か学校施設課が行けるように前向きに考えたい。
- 委 員 スクールバスの便が多くなると思うが、今の高校跡地周辺の道路が貧弱である。バスも通る、保護者の車も通る。十分余裕をもった往来ができるよう道の整備はできるのか。
- 教 育 長 高校の南側の道は町道であり、県河川もある。建設課の方と協議しながら道路の拡幅については進めて行きたい。今年が実施設計で来年度から工事に入るので、道路の整備については開校後に順次町道の拡幅、橋道の拡幅と進んでいくと思う。通学方法のスクールバス等については5,6年前になるが、前回のときに説明したのは、小学校は4キロ以内で決まっている。ただ、4キロは大人が歩いて1時間なので現状の内海地区には合わない。イメージは1.5キロから2キロの範囲が徒歩で、それを超える範囲がバスの対応をするのが基本的な考えとなる。それ以外に他市町の話を知ったら、低学年のうちにはスクールバス、4年生に

- なったら徒歩でといったような、その地域の中でも学年で分けるとかを含めて事務局から提案をして各学校区、保護者、運営メンバーで検討していただいて、ご了承をいただきたいと考えている。
- 委員 私はこどもが3人いるが、小学生がいないのでニーズがわからない。上のひとたちの意見も大事だが、服装や、スクールバスや通学路や猛暑がすごいので、そういう面も含め、実際通学している人の意見とか、私服登校やランドセルじゃない子もいるので、どのくらいの希望があつて、という情報があつたほうが意見が言いやすい。生の声があれば聞きたい。
- 教育長 標準服について言うと、小豆島町は標準服であり、制服ではない。実際に私服で登校している児童もいる。統合小学校も皆様のご意見を聞いての判断となるが、基本的には標準服で、私服登校したい児童は私服登校でいいと思うが、これは各小学校、PTAに聞いて、私服がいいという意見があれば当然それを否定するものではないが、今まで私が聞いた範囲では標準服が便利であるという意見が多い。私服を希望される児童は私服も可というのが基本となる。
- 通学方法は、今までとまったく違うところになるので、苗羽や安田、特に安田は距離的に徒歩とバスと分かれると思うので、保護者間で十分に協議をして意見を出していただきたい。
- 委員 長 過去の統合でアンケートをとったというデータはあるのか。
- 事務局 データは無いが、服装に関して言えばアンケートは必ずとらなくてはいけないと思うので、アンケートの結果や保護者の意見を集約した段階で、ここで議論していただければと思う。
- 委員 長 それでは、次回の会議について説明をお願いします。
- 事務局 まず冒頭申し上げたとおり、委員の追加選出ということで、各小学校のPTAから、出来たら女性の方や低学年の保護者や小学校に通う予定の方を選んでいただけたらと思う。次は学校名と校章の決定方法について議題に挙げさせてもらいたい。学校名についてはおそらくこちらで案をひとまず提示させていただくことになると思う。校章については、公募することになるのかなと思うので、それについて確認していただきたい。次に通学支援について、他の学校の状況だとか、現在の支援の状況とか、事務局の方から提示させていただき、意見をもらえたらと思う。次に児童の服装について、保護者アンケートをとる必要があるので、各保護者に対し、メールシステムを使い調査したいと考えている。どういった項目を聞くか議論させていただければと思う。
- 委員 長 次回の日程について説明をお願いします。

事務局 まず学校の校舎の配置案、教室の配置案が設計業者から提出され、ある程度案がまとまり、それと通学支援や服装の資料ができてからで、早くても8月の中旬から末になると思う。

委員長 事務局である程度資料がそろってからということか。

事務局 そのとおり。また提示させていただく。

委員長 皆様のご意見をいただき、こういった形で次回も進めていきたい。